

図7 調剤数量の分布(高脂血症、平成15年)

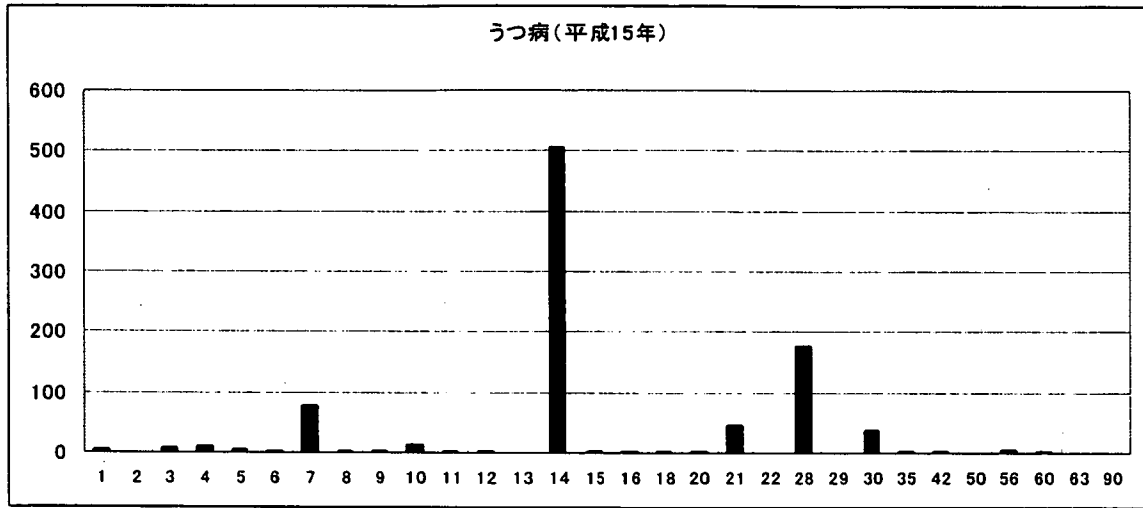


図8 調剤数量の分布(うつ病、平成15年)

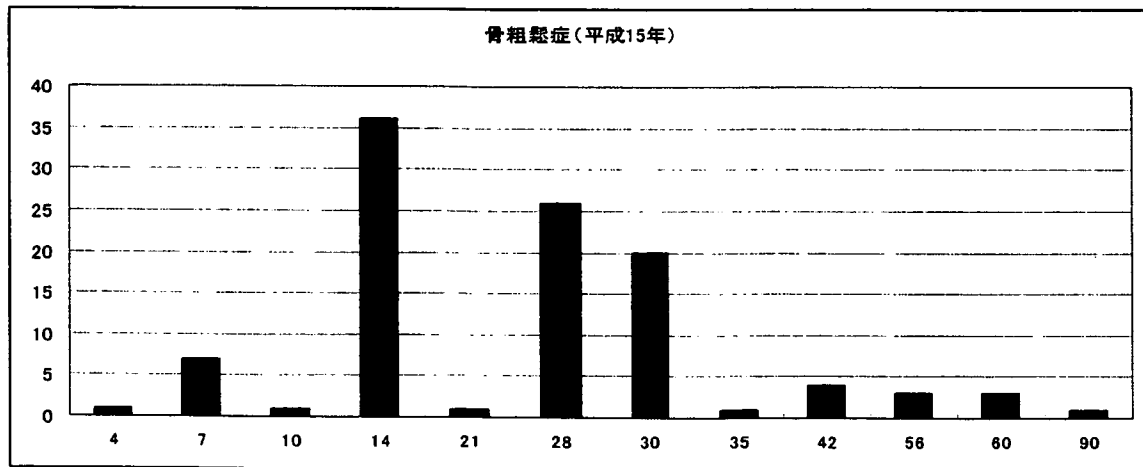


図9 調剤数量の分布(骨粗鬆症、平成15年)

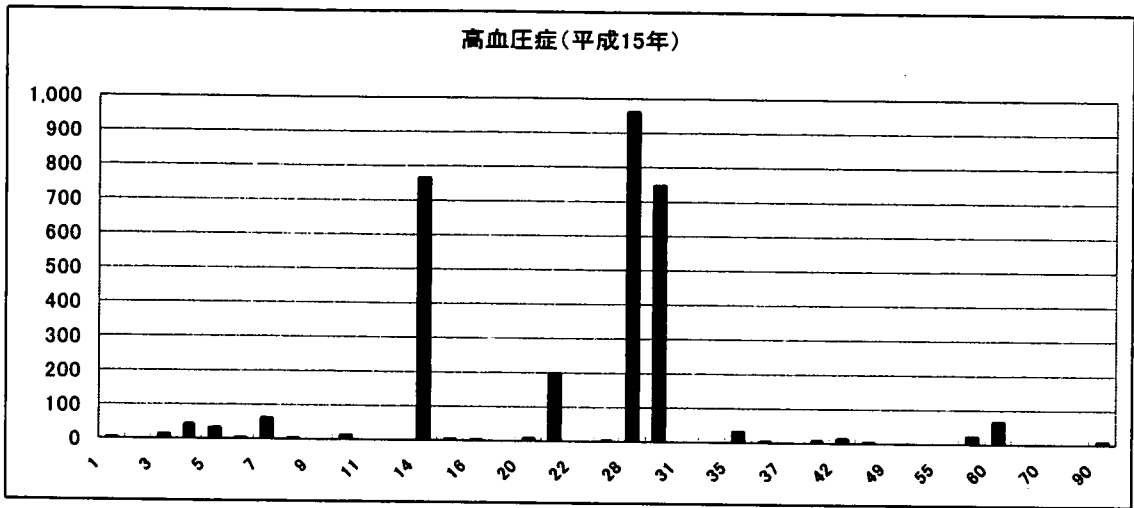


図 10 調剤数量の分布 (高血圧症、平成 15 年)

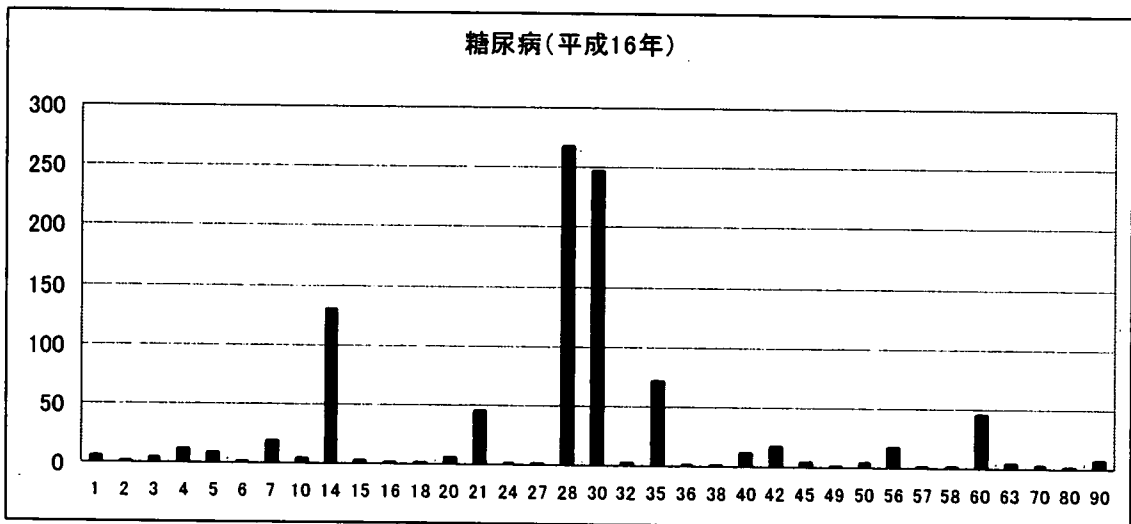


図 11 調剤数量の分布 (糖尿病、平成 16 年)

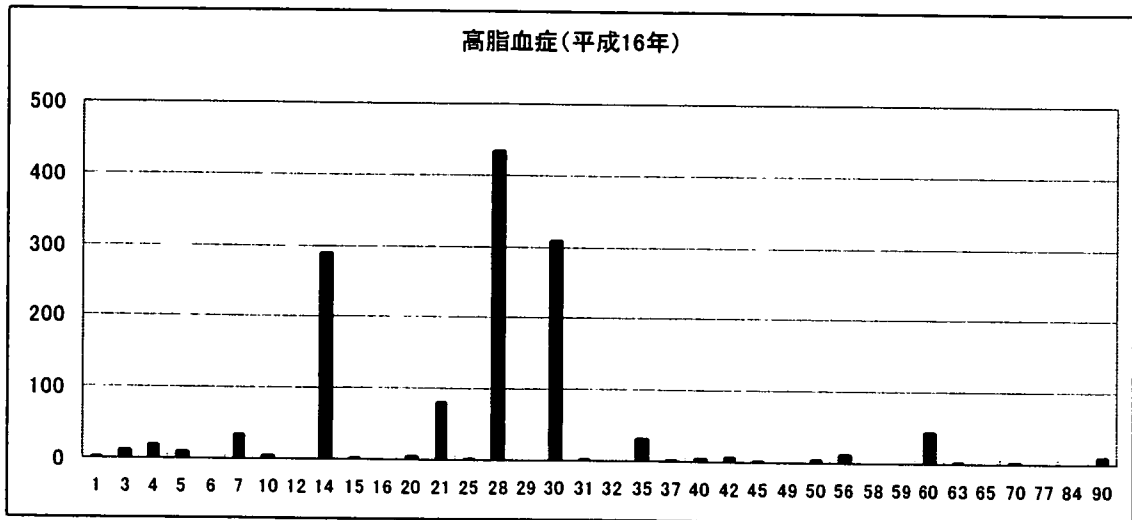


図 12 調剤数量の分布 (高脂血症、平成 16 年)

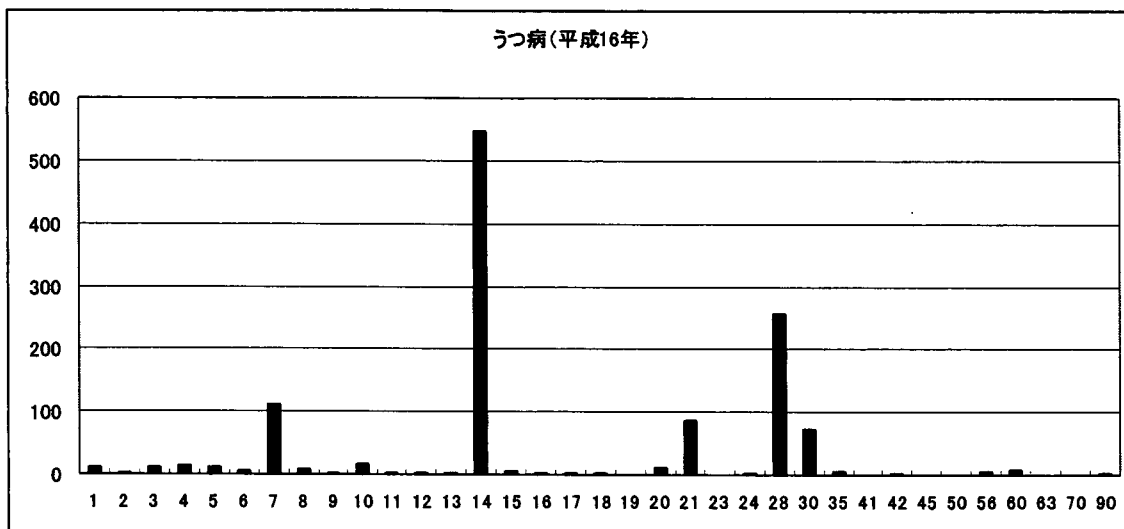


図 13 調剤数量の分布 (うつ病、平成 16 年)

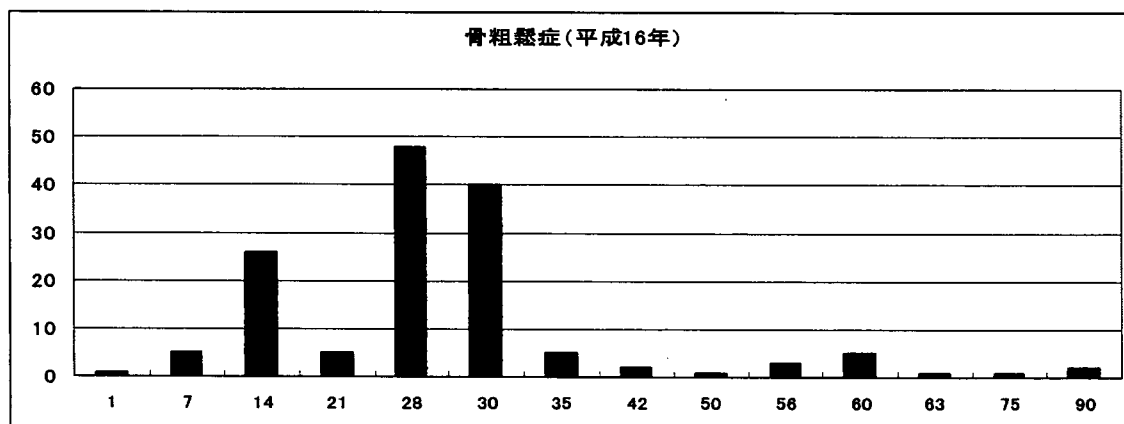


図 14 調剤数量の分布 (骨粗鬆症、平成 16 年)

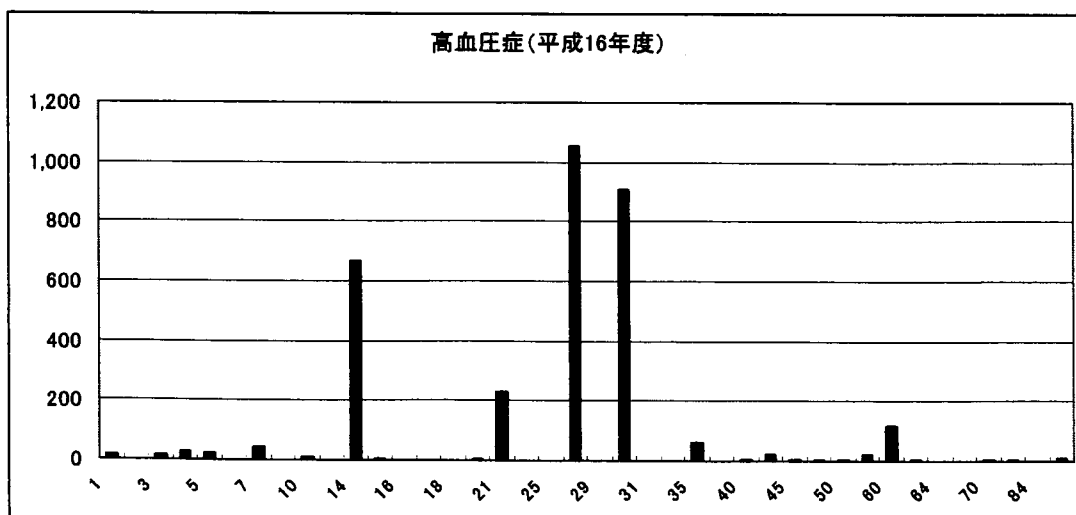


図 15 調剤数量の分布 (高血圧症、平成 16 年)

表 18 投薬中のイベント等に関する回答結果

設問	人数	比率
【1】体調の変化はあったか		
1 変化した	19	26.0%
2 変化した時期があった	7	9.6%
3 変わらない	43	58.9%
「1 変化した」人のみ回答		
良くなった	17	(89.5%)
悪くなった	1	(5.3%)
「2 変化した時期があった」人のみ回答		
良いときがあった	2	(28.6%)
悪いときがあった	4	(57.1%)
【2】服用後にいつもと違う症状がでたことはあったか		
1 あった	11	15.1%
2 なかった	57	78.1%
【3】他の薬を服用したか		
1 服用した	37	50.7%
2 服用していない	35	47.9%
【4】投薬期間中に受診したか		
1 受診した	36	49.3%
2 受診していない	35	47.9%
「1 受診した」人のみ回答		
投薬を受けた同じ病院の同じ科	14	(38.9%)
(複数選択可) 別の科	17	(47.2%)
別の病院	11	(30.6%)
【5】次回、投薬を受けた科を受診する時期		
1 1週間以内に診察を受ける予定である	3	4.1%
2 1ヶ月以内に診察を受ける予定である	15	20.5%
3 2ヶ月以内に診察を受ける予定である	12	16.4%
4 その他	15	20.5%
【6】飲み忘れや飲み残しがあった薬はあるか		
1 よくあった	3	4.1%
2 ときどきあった	16	21.9%
3 あまりなかった	18	24.7%
4 全くなかった	33	45.2%
【7】お薬について何か困ったことはあったか		
1 よくあった	1	1.4%
2 ときどきあった	5	6.8%
3 あまりなかった	18	24.7%
4 全くなかった	43	58.9%
【8】投薬日数が長くなったことをどう感じたか		
1 長くなってよかった	21	28.8%
2 長くしないほうがよかった	2	2.7%
3 どちらともいえない	39	53.4%
総数	73	100%

注 無回答の人数および比率は省略した

別表1 臨床的意義が高い(患者の重大な不利益を回避できたと思われる)と評価された処方変更例

元の処方	疑義照会后	変更理由等
アルボ(2CO) 2T ソルドロン 2.0 /2×mA 7TD ライラテープ 7枚×3 一日一回貼付	ソルドロンを中止	他病院より、ソロン処方されているため(重複)
カタリンK点眼用 0.005% 1日3回 点眼 両眼 15ml キサラタン点眼液 5ml 1日1回 点眼 両眼	キサラタン点眼	眼が痛くなったから(刺激あり副作用の可能性あり)
モーラステープ 7Cm×10Cm(7枚) 2包 1日1回患部に貼付	インサイドハップ 15枚 1日1回患部に貼付 と変更された。	
エリスロシンドライシロップ10% 0.6g ビオフェルミンR 2g 1日3回 毎食後 2日分 アルピニー坐剤200 2個 38.5度以上時 1回1個肛門に挿入 患者参考体重21.5kg	エリスロシンドライシロップ10% 100mg 用量 成人1日800~1200mg(力価)(エイズロマイシンとして) 小児1日体重1kgあたり25~50mg(力価) 体重21.5kgで1日量0.6kgは処方量が過小であるため確認 医師より6.0gに変更の指示	体重に対する投与量が過小(10倍違っていた) 処方ミス
サンコバ点眼液0.02% 5mL 用法1日4回 3瓶 1日使用量 朝5昼5夕×寝× ×使用日数 28日 ノボリン20R注フレックスペン300単位 3 キット ペンニドール 30G 8mm 90本 1日使用量 朝×昼×夕12寝× ×使用日数 28日 ノボリンR注フレックスペン300単位 3 キット キネダック錠50mg 3錠 1日3回毎食後 38日分 クリノリル錠100 100mg 2錠 1日2回朝夕食後 38日分 アデホスコワ顆粒10% 3g 1日3回毎食後 28日分 アダラートCR(40)1T 1× M/38TD	注射の用法・用量について、患者④の話と処方内容が違い違っていたため照会。 ノボリン20R注フレックスペン300単位が1日1回12単位注射 ノボリンR注フレックスペン300単位が1日2回朝5昼5単位注射 医師より変更の指示 他の疑義照会内容については変更なし	医師の患者④への説明と処方せんに記載内容が異なってしまった。処方せんへのミス
NEコタニ100mg 2C メチコバイド0.5mg 2錠 アリナミンF糖衣錠[25mg] 2錠 カルデナリン錠1mg 2錠 アテック錠5mg 2錠 分2 朝・夕食後服用 ×30日分 レニベーズ錠5mg 1錠 ノイファン錠100mg 1錠 分1 朝食後服用 ×30日分 ツムラウ薬甘草湯エキス 顆粒(医療用) 5g カロナール錠300mg 2錠 分2 朝・夕食後服用 ×30日分 プラバメイト錠5mg 1錠 分1 夕食後服用 ×30日分 セループカプセル50mg 3C ラックビー微粒 3g 分3 毎食後服用 ×30日分 アドフィード 10cm×14cm 30枚 1日1回 患部に貼付 ×1調剤 エパテッククリーム3% 50g 1日3回 患部に塗布 ×1調剤 キサラタン点眼液0.005% 2.5ml 1日3回 点眼・両眼 ×1調剤 チモプトール0.5% 2.5ml 1日3回 点眼・両眼 ×1調剤 ペンフィル30R注300 2筒 1日2回 朝12単位、夕6単位注射 ×1 調剤	キサラタン点眼 用法1日3回→1日1回 チモプトール0.5% 2.5ml 1日3回 →チモプトールXE0.5% 2.5ml 両眼1日1回	キサラタン点眼 頻回投与により眼圧下降作用が減弱する報告あり。

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ムコダインsy 9ml 分3 毎食後 ×4日分 フロモックス小児用細粒 1.3g エンテリロンR 1g アストミン散10% 1.3g 分3 毎食後 ×4日分	アストミン散1.3g→アストミンシロップ10ml	年齢5歳 アストミン散10% 1.3g 用量過大。
ベイスン錠0.2 3錠1日3回 毎食後 35日分 ダオニール2.5mg 2錠1日1回 朝食後 35日分	レニベース5mg 2T分1 朝食後 35日分 が追加	記載もれ
ワーファリン錠1mg 1.5錠 パラミチンカプセル(300mg) 1C ディオバン錠80mg 1錠 リスモダンカプセル100mg 1C 分1 朝食後服用 28日分 ベネット錠2.5mg 1錠 分1 朝起床後180mlの水と服用 28日分 モーラステープL 10Cm×14Cm 70枚 1日1回貼付(1回1から2枚) モーラステープ 7Cm×10Cm 70枚 1日1回貼付(1回1から2枚)	ワーファリン錠1mg 1.5錠→ ワーファリン錠.5mg 1.5錠	患者情報により前回と変わらない旨 医師より言われたがワーファリン増量さ れているため疑義照会。 前回Doと変更
フロモックス錠100mg 3錠セルベックス カプセル50mg 3C3×毎食後服用 3 日分 ロキソニン錠 60mg 3錠痛む時服 用 1回分	ロキソニン3錠 1回分からロキソニン1錠 3 回分に変更	1回分の量が多いため問い合わせをした
ノルバスク2.5mg 1Tプロプレス 2mg 1T 朝1日1回	プロプレス 2mg 削除朝は朝食後に変更	血圧がさがったとのことで1ヶ月前からや めているプロプレスがまた処方されて患 者の体調はかわらないとのことで問い合 わせ後削除となった
エバステルOD(10) 1T 分1:夕食後 14日分 アンテバート軟膏0.05% 5g 1日2~3回患部に塗布 デキサルチン軟膏(口腔用)0.1% 2g 1日2~3回患部に塗布	エバステルOD(10)削除 デキサルチン軟膏2g→5gへ変更	同日に別の医院でタベジールが 処方されており、効果重複のため エバステル削除となった。 デキサルチン2gは、在庫がなく、 患者さんが急がれていたため 5gへ変更許可を頂いた。
クリアナール 2T メプチン 2T テオドール(100) 2T 分2:朝・夕食後 14日分 メプチンエア-10μg 5mL×1本 1日2回吸入	メプチンエア-が フルナーゼ点鼻液 1瓶 1日2回鼻腔内噴霧 へ変更	患者さんより、鼻炎症状がひどく Dr.に点鼻を処方してもらっている はずとのことで確認し変更になった。
ドグマチール錠50mg 2錠分2 朝・夕食 後 7日分 レンドルミン錠0.25 7錠 マイスリー錠10mg 1錠分1 就寝前 14日分 パキシル錠10mg 2錠分1 夕食後 14日 分 リゼ錠10mg 1錠分1 昼食後 14日 分	レンドルミン錠0.25 7錠からレンドルミン錠 0.25 1錠に変更	オーダリングミス
ムコサルDS 0.3g 2×M. An 14日分 ノイチームシロップ(0.5%) 2.4ml 2×M. An 14日分	ノイチームシロップ削除	卵アレルギーの患者であったため問い 合わせ→ノイチームは卵白由来成分が 入っているため、卵アレルギーの患者は 禁忌。そのため削除となったと考えら れる
セレスターナ又は同効品 2T 2×7TD	セレスターナ2Tより 1×朝食後に訂正 成分名薬剤に関しては全て後発品可で す。患者さんに説明し、患者さんの希望を 優先してください。	他院(ハルナールD錠0.2 パップフォー 錠10mg) 前立腺肥大、セレスターナは前立腺肥大 禁忌のため
クラリス錠200 2錠 フスコデ錠 2錠 ムコダイン錠500mg 2錠 ソロン細粒20% 1g 1日2回 朝夕食後服用 21日分	クラリス(200) 2T ムコダイン(500) 2T ソロン(20%) 2g 1日2回 朝夕食後服用 21日分 メジニンシロップ24ml キョウニン水3ml 1日3回 21日分	この患者さんは併用薬として緑内障の 点眼を使用していた。フスコデには抗 コリン作用があるため、変更するよう 照会。以前服用したことのあるメジニ ンシロップ+キョウニン水に変更するよう 指示をいただいた。
フロモックス錠 100mg 3錠 ムコダイン錠500mg 3錠 フスコデ錠 3錠 ソロン細粒20% 1.5g 1日3回毎食後服用 14日分 メジニンシロップ 24ml キョウニン水 3ml 1日3回毎食後服用 7日分	フロモックス(100) 3錠 ムコダイン(500) 3錠 フスコデ 3錠 ソロン(20%) 1.5g 3×毎食後 →クラリス(200) 2錠 ムコダイン(500) 2錠 フスコデ 2錠 ソロン(20%) 1g 2×毎食後	患者さんペニシリン系のアレルギーあり。 フロモックスはセフェム系であるが構造 形が似ていることから照会→マクロライド 系のクラリスへ変更と指示受ける。

元の処方	疑義照会后	変更理由等
パイアスピリン錠100mg 1錠 レニベーズ錠5 1錠 ノルバスク錠2.5mg 1錠 1日1回朝食後 30日分 リピトール錠10mg 1錠 ファモチジン錠10「サワイ」10mg 1錠 1日1回夕食後 30日分 シロステート錠100 2錠 1日2回朝夕食後 30日分 [頓服] ニトロペン錠 0.3mg 1錠 頭痛時 10回	シロステート 2錠 2×毎食後 →ニチステート 2錠 2×毎食後の誤り	患者さんとのインタビューの中でパナルジンを服用していたような話あり。他病院にて服用していたが、今回から診療所へ照会されて当薬局へ受診。感覚でおかしいと思い確認の照会したところシロステートで良いと事務員。その後調剤している最中に電話ありパナルジンの後発品であるニチステートの誤りであるとDr本人より電話ありシロステート、ニチステートの名前が似ていたからであろうと思う。
アダラートCR(20) 1T 1×朝N アマリール(3) 2T クラリス(200) 2T ゼスラン 2T 2×朝夕N メデット 3T トランコロン 3T 3×N 以上28日分	アダラートCR(20) 1T 1E×朝N アマリール(3) 2T クラリス(200) 2T セスデンCAp 2CAp 2×朝夕N メデット 3T トランコロン 3T 3×N 以上28日分	患者インタビューと薬歴により、ゼスランではなくセスデンではないかと考えたため疑義照会。入力ミスによる記載間違いと分かった。
セフゾンCAp(100) 3C エンテロノンR 3g 3×N 3TD ロキソニン 1T 痛む時 3回分	ロキソニン 1T 痛む時 3回分	前日に同Hp、整形外科より、フロモックス(100) 3T 3×7日分 処方されていたため、セフゾンと重複するので、セフゾン、エンテロノンRは削除となりました。
つくしA・M散 3.9g ベルサンチン錠25mg 3T カルナクリン錠25 3T 1日3回 毎食直後 30日分 ノルベース100mg 2CAp 1日2回 朝・夕食直後 30日分 パナルジン錠100mg 1T コニール錠4 1T メバロチン錠10 1T 1日1回 夕食直後 30日分 アテレック錠5 1T ラニラピッド錠0.1mg 1T アリセプト錠5mg 1T 1日1回 朝食直後 30日分	追加 ニトロールR 3CAp 1日3回 毎食直後 30日分 レンドルミン錠 1T 1日1回 就寝前 14日分	ニトロールR、レンドルミンが前回から削除されていたので、患者さんに確認したところ、いつもと同じ薬を処方してもらったということだったので、医師に確認したところ、追加になった。
フロモックス(100) 3T ミヤBM細粒 1g 3×毎食後 3日分	10月17日に同Drよりクラリスッド(200)が処方、患者さん本人にDrよりの指示あったか確認するが、わからないとのことだったのでTEL。 フロモックス(100)は中止となる。	抗生剤2種処方になったため(2剤服用)
リスパダール細粒1% 0.4g コントミン糖衣TAB(25) 2T 2×朝食後 レボトミン(25) 2T 1×夕食後 ピレチア(25) 2T 2×朝食後 インデラル(10) 3T 3×毎食後 ベンザリン(5) 1T ヒルナミン散50% 2.5mg 1×就寝前 全て60日分	メルカゾール(5) 2T ラシックス(40) 1T アロシトール(100) 1T 1×朝食後 60日分 追加	Dr処方忘れのため。
パリエット(10) 1T グリセチンV 1T 1×夕食後 30日分	グリセチンV →クラリチン(10) 1T 1×夕食後へ変更	今までクラリチンを服用していたが、急にグリセチンVが処方され、服用するに当たった症状が話からなかったため
プレラン錠	プリンペラン錠	患者インタビューと薬歴より明らかに入力ミスと思われ照会
PL顆粒 3gポンタール(250) 3Cムコダイン(250)3T3×毎食後 4日分	PL顆粒 中止レスプレソ(30) 3Tダーゼン(10) 3T3×毎食後 4日分 追加	この患者さんは同診療所により血糖降下剤を処方されており、この1週間前にさらにオイグルコンが増量されていた。PL顆粒の添付文書を見ると糖尿病用剤の作用を増強するとあったため、医師に問い合わせたところ処方変更となった

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ツムラ大建中湯エキス顆粒 15g ツムラ猪苓湯エキス顆粒 7.5g 分3 毎食前 30日分 ラニタック(150) 2T 分2 朝夕食後 30日分 グロリアミン顆粒 1g セルーブ細粒 1g つくしAM散 1g ミヤBM細粒 0.9g 分3 毎食後 30日分 ロキペイン(60) 3T グロリアミン顆粒 1g 分3 毎食後 14日分	グロリアミン顆粒1g 分3 14日分を削除	今回臨時処方でロキペイン・グロリアミンが追加されたが、グロリアミン重複のため照会、14日分の処方は削除となった
メイアクトMS小児用細粒 1.44 ムコダインDS 1.4 ザジテンDS 1.0 ノイチーム細粒20% 2.0 分3毎食後 4日分 カロナール細粒20% 0.8 有熱時服用 3回分	ノイチーム細粒20% 2.0 →ノイチーム顆粒10% 2.0	用量過大のため
バクシダール(200) 1T 分1 昼食後 7日分	フロモックス(100) 1T 分1 昼食後 7日分	バレオン(ロメフロキサシン、キノロン系)で薬疹でたことあり、同系薬だったので
テオドール(200)2T 2× 朝・夕後 シングレア(5) 1T 1× 夕後 ホクナリン 3T 3× 毎食後 7日分 メプチンユアー 1本 1回2吸入 1日3回まで	ホクナリン 3T 3× → 2T 2×	常用量が1回1mg 1日2回服用のため問い合わせ、変更
カズマリン錠2mg 1錠 ニルジラート錠4 1錠 レノペント錠5 1錠 分1 朝食後服用 28日分 モービック錠10mg 1錠 セフタックカプセル50 1C 分1 朝食後服用 28日分 チクピロン錠100mg 2錠 テクニス錠20 2錠 分2 朝食・夕食後服用 28日分 テルネリン錠1mg 1錠 テグレート錠100mg 1錠 分1 夕食後服用 28日分 セロクラール錠 10mg 3錠 分3 毎食後服用 28日分 ナパゲルローション 3% 50ml 1日3~4回 患部に塗布	セロクラール錠10 削除 テクニス錠20 2T→3T N3×1に変更	酒石酸イフェンプロジル 同一成分の商品名違いの2剤が処方されているため変更
プロプレス錠4 1錠 アーチスト錠10mg 1錠 分1夕食後服用 28日分 ザンタック錠150 2錠 ボラキス錠1 2錠 分2 朝食・夕食後服用 28日分 ウラリットU 1g プロプレス錠8 1錠 ユリノーム 50mg 1錠 分1 朝食後服用 28日分	ウラリットU→削除	他の病院でウラリットU処方されているため 削除
ローコール錠20mg 1錠 分1 夕食後服用 28日分 ロヒプノール錠2 1錠 分1 就寝前服用 7日分	ロヒプノール錠(2)1T →ロヒプノール錠(1)1Tに変更	71歳の高齢者の方でロヒプノールは1mg/回までなので変更
[内服] カプシール錠 25mg 6錠 フルイラン錠2mg 2錠 ノルバスク錠5mg 2錠 分2 朝・夕食後 14日分 ガスポート錠20mg 1錠 リビトール錠5mg 1錠 アロシトール100mg 1錠 ワーファリン錠1mg 5錠 分1 夕食後 14日分 [外用] タリビット点眼液0.3% 5mL 1日2回右眼に点眼	ワーファリン1mg 5T ↓ ワーファリン1mg 4.5T	前回より4.5Tに変更になったにもかかわらず、今回も5Tで処方され、患者に何も告げられていなかったため確認したところ、4.5Tであった。



元の処方	疑義照会后	変更理由等
循環器科 ニトロールRカプセル(20mg) 2CP テオロン錠(100mg) 2錠 プロプレス錠(4mg) 2錠 1日2回、朝・夕食後 50日分 パナルジン錠(100mg) 1錠 1日1回、朝食後 50日分 アプレーズ細粒(200mg/g) 1.5g ムコソルバン錠(15mg) 3錠 酸化マグネシウム末〔カマ〕 1.5g **別包(直上の薬品) 1日3回、毎食後 50日分 ツムラ9小柴胡湯(2.5g/包) 3包 1日3回、毎食後 50日分 インサイドパップ(5枚/袋) 5袋 1日1~2回、患部に貼付 内科 セレベント50ロタディスク(4BL/枚) 25枚 1日2回、1回1プリスター吸入 ルリッド錠(150mg) 2錠 1日2回、朝・夕食後 50日分 レスプリン錠(20mg) 3錠 ムコソルバン錠(15mg) 3錠 1日3回、毎食前 50日分 ザイロリック錠(100mg) 1錠 1日1回、就寝前 50日分	循環器と内科がムコソルバン重複 ↓ 内科のムコソルバンを中止	2科とも重複に気がつかなかったため
アモキシサンカプセル25mg 2C 分2:朝・夕食後 28日分 テトラミド錠10mg 2T 分1:就寝前 28日分 ロフラゼブ酸エチル錠1mg(一般名) 1T 分1:夕食後服用 28日分 ベンザリン錠5 1T 分1:就寝前 28日分	ロフラゼブ酸エチル1mg(一般名)分1 夕食後28日分の処方が分1夕食後 14日分(隔日投与)に変更	薬歴からいつもの処方と内容が違う ため問い合わせ→処方間違い
フスコデシロップ 1mL サルジメンシロップ0.02% 3mL 分2:朝・夕食後30分 4日分 ホクナリンテープ1mg 4枚 分1:就寝前 胸部又は背中に貼付	ホクナリンテープ1mg 4枚 →0.5mg 4枚 に変更	年齢から考えると通常0.5mgを 使用するはずなので問い合わせ →処方せんの入力間違い
(1) テルネリン 3T 分3 食後	(1) タリビッド点眼液 5ml 分3 両眼 (2) フラビタン点眼液 5ml 分3 両眼 (3) カリーユニ点眼液 3本 分3両眼	インタビューより症状、処方内容に相違。
ジスロマック2.5mg 1T分1朝食後 14日分 50才 ♀ クラリシッド200 2T 2×M.An 5TD ムコダイン250 6T ダーゼン10 3T ミヤBM 3×n 6TD アレジオン20 1T シングレア10 1T 1×An 6TD イソジンガーグル 30ml SPTローチ明治 30T ホクナリンテープ 2mg 5枚 1日1回 胸に貼付	アムロジン2.5mg 1T ホクナリンテープ2mgで 副作用(動悸)あり 1mgに変更	カルテ転記ミス 記載なし
28才 ♀ ビブラマイシン100 1T ハイチオール80 1T 1×Mn 14TD ミノマイシン100 1T ハイチオール80 1T 1×An 14TD	ミノマイシン100mgでめまいあり ビブラマイシン100mgに変更	記載なし

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ロキソニン錠 60mg/T 3T デパス錠0.5mg 0.5mg/T 3T 3×毎食後 60日分 ボルタレンサボ50mg 50mg/個 50個 肛門坐薬 プロレナール錠 5μg/T 6T 3×毎食後 60日分 テルネリン(1) 3T 3×毎食後 60日分	テルネリン削除	他医院にて併用禁忌の薬服用中(デプロメール)のため疑義。今回処方のお薬削除。
ネオフィリン 6T パントシン(30) 3T 1日3×14日分 バイカロン 1T 1日1朝×14日分	ネオフィリン 6T→ネオフファージェンC	前回までの処方薬剤と異なるため確認。Drの記載ミス判明。
カフコデン錠 6T ムコソルバン錠 15mg 3T 毎食後 処方日数4日 クラリス錠200 200mg 2T 朝夜 食後 処方日数4日	クラリス2T→セフゾン100 3C 分3へ	授乳中の患者さんであったため
ミオリラク錠50mg 2錠 ビタダン錠 2錠 ミリダシン錠 2錠 セフタックカプセル50 2C 分2 朝・夕食後服用 #1 14日分 ピレチア錠25mg 2錠 分2 朝・夕食後服用 #9 14日分 アメルS軟膏 50g 入浴後塗付 #10	ピレチア25mg→5mgに変更 アメルS 首	ピレチア処方初めてであったが通常Drが使用している規格(量)ではなかったため
マイスリー(S) 1T 1×朝	マイスリー(S) 1T 1×vDs	服用時点が不適
バイアスピリン錠100mg 1T プロプレス錠8 8mg 1T アムロジン錠5 5mg 1T 朝 食後 28日 オメプラール錠10 10mg 1T リポバス錠5 5mg 1T コンスタン0.4mg錠 1T バップフォー錠20 20mg 1T 夜 食後 28日 ボルタレンゲル1% 50g 膝	バップフォー20 20mg 1T 夜食後 ↓ バップフォー10 10mg 1T 夜食後に変更	患者が入院先でバップフォー10mgを処方されていたため、同薬処方。コンピュータの入力ミスだったよう。(Drカルテは10mgで記載とのこと)
プロプレス ④ 1T コニール ④ 1T アロプリノール 200 バイアスピリン 1T 1×アサ 28日 レンドルミン1/2T 1×vDs 14日 モーラステープ 3? インドメタシン軟 25g	コニール④1錠中止 プロプレス④1錠→⑧1錠に変更 モーラステープ膝に使用確認 インドメタシン軟膏→イドメシニコワクリームに変更膝使用確認	平成17年4月に一度コニール服用で気分が悪くなった事薬歴に記載あったため処方変更
アダラートL 20 4T オルメテック 20 2T レニベース 10 2T 2×N セレクトール 100 1T アロプリノール 100 1T ラシックス 20 1T 1×アサ 食後 フアスティック 90 3T 3×直前 カリメート ⑤ 1T 1×N 14日分	アダラートL 20 4T→3T(2-1)変更 カリメート 5g 分1 夕食後 服用確認	アダラート前回と変更になっていたため患者さんに変更聞いているか確認しDr照会。カリメート服用時点記入もれのため確認
アスピリン 1g 1×m 28日分	アスピリン 0.1g 1×m 28日分	薬歴より
ラニラピッド 0.1mg 1T 1×m 28日分	ラニラピッド 0.05mg 1T 1×m 28日分	薬歴より誤りに気づいた
フロモックス 100mg 3T PL 3.0 3× 5日分	フロモックス 100mg 3T メジコン 15mg 3T ムコソルバン 3T 3× 5日分	前立腺肥大であるためPL処方について確認変更となる
カマ 2.0 3×n 6日分 新レシカルボン坐 3ヶ 1回1ヶ	新レシカルボン坐 3ヶ 1回1ヶ	他科よりカマ1.5gの処方があり重複するため照会
トランサミン 250mg 6T PL顆粒 3.0 3×n 5日分 ツムラ小青竜湯 9.0 3×v 5日分 トーク 10ml	トランサミン 250mg 6T 3×n 5日分 ツムラ小青竜湯 9.0 3×v 5日分 トーク 10ml	薬歴より他院にてサンピロ処方あり緑内障が疑われるため問い合わせPL中止となる
サイレース 1mg 1.5T 1×vDs 14日分	サイレース 1mg 0.5T 1×vDs 14日分	患者は減量と理解していたため問い合わせ
カルタン 3.6 3×毎食直前 14日分	カルタン 5.4 3×毎食直前 14日分	薬歴より投与量確認

元の処方	疑義照会后	変更理由等
セパゾン 1mg 1T レスリン 25mg 1T 1×vDs 28日分	ガスターD 20mg 2T 2×n 28日分 アルサルミン 3.0 ムコスタ 3T 3×n 28日分	主治医ではなかったため古い処方が出された
トレドミン 25mg 3T 3×n 14日分	トレドミン 25mg 2T 2×n 14日分	薬歴より投与量確認
マイスリー 5mg 1T 1×M 14日分	マイスリー 5mg 1T 1×vDs 14日分	用法が不自然なため確認
アスタットクリーム 1% 20g 1日1回塗布 デルモベート軟膏 0.05% 15g 1日2回塗布 ウレパール 10% 20g 1日2回塗布 ロキソニン錠 60mg 3錠 朝・昼・夕食後 2日分 アレロック錠5 2錠 朝・夕食後 14日分 スピール膏M 25cm <sup>2</sup> 1枚 1枚 1日1回塗布 ゲンタシン軟膏 1mg 10g 陰部 1日2回塗布 フロモックス錠 100mg 3錠 朝・昼・夕食後 5日分	ロキソニン削除	他院からロキソニンの処方があるため
内服 ムコダイン錠500mg 3錠 1日3回 毎食後服用 7日分 アレジオン錠20 1錠 1日1回 朝食後服用 7日分 屯服 セレキノン錠100mg 1錠 夜 3回	セレキノン(100)→ セレスタミン	セレキノンを屯服で服用するとは考え難く、おなかの調子も悪くないとのことなので
テオドールDS 20% 3g/2× 朝夕后 7TD	3g→2g	患者年齢11歳に対しテオフィリン600mgが多いのではと確認。2gに減量になった
ハイペン(200) 2T テルネリン(1) 2T/2× 朝夕后 5TD	テルネリン削除	テルネリンは定例薬で、3T/3×nDEで服用しているため(同医院)確認したところ削除に
プロプレス(4) 1T ロカトルール(0.25) 1C/1× 朝后 アローゼン 1g/1×VDs ビオラクチス散 1g アルサルミン細粒 2g エクセラゼ顆粒 1g/1× 朝夕后 ベネット 1T/1× 起床時 テルネリン(1) 3T ドグマチール(50) 3T/3× nDE 14TD ラクティオンパップ 20枚	ラクティオンパップ20枚から セクバン20 21枚に変更	ラクティオンパップは以前処方されて使用した際にぶれたとのことで
アロシトール 2T/2× 朝夕后 リピデイル(100) 1C/1× 朝后 14TD	リピデイル(100)削除	前回処方されたリピデイル服用後下痢・腹痛のため服用中止しており。今回Dr.に話していないとのことでDr.に確認。中止となった
フェロミア錠50mg 3錠 デラキシールM 3g 分3 毎食後服用 28日分 EPLカプセル250mg 6C ウルソ錠100mg 3錠 ピタメジンカプセル25 3C 分3 毎食後服用 14日分 ブラダロン錠 200mg 3錠 分3 毎食後服用 14日分 ツムラ八味地黄丸エキス顆粒(医療用) 7.5g 分3 毎食前服用 14日分	EPLカプセル ウルソ錠100 ピタメジンカプセル25 ブラダロン 削除	前回まで服用していなかった薬(2ヶ月前に同処方中止)今回血液検査を受けている。結果を見ずに処方されていること、患者は他にも服用薬が多数あるため、検査結果を見てからにしてほしいという意向を伝え処方中止。(71才男性)ブラダロンは他からと重複投与のため中止。
アレジオンドライシロップ1% 0.9g 分1 朝食後服用 5日分 ニボラジンシロップ0.03% 7.6ml 分2 朝・夕食後服用 5日分 キンダベート軟膏 5g 鼻の下/1日2~3回	ニボラジンsy削除 フロモックス細流1.71g 3×5日分 追加	同効薬が2種類処方されているため問い合わせ。

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ツムラ桔梗湯エキス顆粒(医療用) 7.5g 分3 毎食前服用 5日分 ニフラン錠 3錠 セレストーナ錠 3錠 ミノマイシン錠50mg 3錠 ムコスタ100 3錠 分3 毎食後服用 5日分 SPトローチ明治 42錠 リボスチン点眼液 5ml 1日4回	リボスチン点眼→リザベン点眼に変更	ハードO2コンタクト使用。コンタクトの上から使用するのとは好ましくないが、点眼後装着しても極力レンズが劣化しないよう、Drに助言して変更
ソレト錠80 3錠 アイロメート錠20mg 3錠 ムコスタ100 3錠 分3 毎食後服用 14日分 プロテカジン錠10 2錠 ウルグートカプセル200mg 4C ガストローム顆粒 3g プロマック顆粒15% 1g 分2 朝・夕食後服用 14日分 モーラステープ 28枚 ニゾラールローション2% 30g 頭部 1日2回	ムコスタ100 削除	ウルグート、ガストローム、プロマックも処方されており、同効薬の重複投与が考えられるため問い合わせ
PL顆粒 3g メジコン錠15mg 6錠 分3 毎食後服用 5日分 リビトール錠10mg 1錠 分1 夕食後服用 21日分 スプレンジール錠2.5mg 21錠 分1 夕食後服用 21日分 モーラステープ 14枚 肩/入浴後	スプレンジール2.5 21T→1T	用量オーバー
ケフラールカプセル 250mg 3C エンピナースPD錠 18,000単位 3T 分3 毎食後 4日分 ポンタールカプセル 250mg 2C 疼痛時 4回分	ケフラールカプセル削除	患者は以前、抗生物質を服用していませんでしたができたことがあり、名前、系は不明であるが、できれば抗生剤は服用したくないとのこと。その旨Dr.に伝えると、今回は抗生剤なしで様子をもよということになり、ケフラール削除
バイアスピリン 1T アムロジン(1.5) 1T アリセプト(5) 1T 分1 朝食後30日分 レンドルミン(0.25) 1T 分1 就寝前 30日分	アムロジン(5) 1T →アムロジン(2.5) 1Tに変更	定期処方。いつもアムロジン(2.5)が処方されているが、アムロジン(5)になっていたため、患者に確認した所、増量の話は聞いていないとのこと。Drに疑義照会を行い、書き間違いであることがわかった。
ケフラールカプセル250mg 3C エンピナース・PD錠 18,000単位 3T 分3 毎食後 2日分 ポンタールカプセル 250mg 2C 疼痛時 2回分	ポンタール250 2C 疼痛時 2回分 削除	他院よりロキソニンが処方されており、NSAIDsが重なるため、疑義照会、ポンタールが削除となった。
ジスロマック(250) 3T 分1 朝食後 3日分 トクレスパントールカプセル(30) 3C ゼオエース(15) 3T ムコダイン(250) 6T 分3 毎食後 7日分	ジスロマック(250) 3T →2T に訂正	ジスロマック(250)の量が多すぎるため
サワシリン(250) 3C ボルタレン(25) 3T ダーゼン(10) 3T コランチル顆粒 3g 分3毎食後 4日分 SPトローチ明治(0.25) 16錠 1日4回	内服薬一部変更 クラビット(100) 3T ジソペイン(75) 3T ダーゼン(10) 3T 分3 毎食後 4日分	2003. 9/22にサワシリン、ボルタレン、ナウゼリン(10)で薬疹が出たと薬歴に記載あり。
ノボラビット注300 300単位/筒 5筒 1日3回 朝16時10分12時寝前0単位使用 ノボリン注フレックスペン 2キット 毎食前・寝前 寝前16単位使用	1ボリンN注フレックスペン寝る前のみの使用確認 1ボラビット注 300単位 カートリッジタイプからフレックスペンへ変更	1ボリンNは、今まででも寝る前の使用だとお話をうかがったため。 1ボラビットはカートリッジタイプではなく、フレックスペンのご使用とうかがったため。

元の処方	疑義照会后	変更理由等
プレドニン錠5mg 2T 分1:朝食後 10日分 塩酸ラニチジン錠150mg 1T 分2:朝夕食後 21日分 プレドニン錠5mg 1T 分1:朝食後 10日分	プレドニン隔日投与のコメントが入る	元の処方ではプレドニンの用量が異なるが、日数が同じであった。ラニチジンの投与日数を考えると、プレドニンの隔日投与が考えられるため、処方医に照会した。
メルビン錠 250mg 2T 分2:朝夕食後 7日分 ノボラビット注300フレックスペン 2キット 1日3回 朝10昼10寝前0単位使用 ノボリンN注フレックスペン 2キット 毎食前・寝る前 寝前14単位使用	ノボリンNフレックスペン 1日1回 寝前に使用に変更	指示内容と入力異なる 入力がミス
リンデロン-VG軟膏0.12%5g 1本 1日1~2回 塗布 みみ、じゅくじゅくしているところ	リンデロンVG軟膏からコンベック軟膏に変更	以前ステロイド外用剤で症状悪化したことがあり、患者より変更の希望
テオドールドライシロップ20% 120mg力価 分2:朝夕食後 14日分 ムコダインDS33.3% 300mg力価 分2:朝夕食後 14日分 オノンドライシロップ 10% 90mg力価 分2:朝夕食後 14日分 ホクナリンテープ 1mg 1枚 1日1回 14回分 ミオカマイシンドライシロップ100 400mg力価 分3:毎食後 4日分	ホクナリンテープ1mgから0.5mgに変更	用量が過量であると考え照会した
1mg ホクナリンテープ 14枚 外 オノンDS 1.2g 20% テルバンス 0.8g 分2朝夕食後14日分 アスベリン8.0ml ムコダイン9.0ml 分3毎食後 5日分	テルバンスD.S.(20%) 1.2g → テルバンスD.S.(20%) 0.8g	平成13年7月生 体重 14~15kg
ランツシール 3tAB カフコデ 6tAB 分3 毎食後 4日分 アレグラ(60) 2tAB 分2 朝、夕食後 4日分 SPTローチ 8tAB 外 分4 40日分	カフコデN 6T / 3× → プロチン末 4g / 3×	過去にカフコデと抗生剤の併用で副作用と思われる症状があった。(手の皮がむける)カフコデとクラリス、カフコデとパカシル、プロチン末は服用経験ある(薬歴より)
ロキソニン 3tAB セルベックス 3CAp カフコデ 6tAB クラビット(100) 3tAB 分3毎食後 4日分	クラビット(100) 3T / 3× → フロモックス(100) 3T / 3×	ノルフロキサシン服用で下血の経験あり(H11~12年ころ?)。依頼同系薬は避けられているとの薬歴初回情報があり、(H16、12月)、患者さんにも再度服用の意向も含めて確認。 (ロキソニンとクラビットの併用については原則、問い合わせ確認は不要と予め指示があるので随時しない)
アスベリン9.0mL レフトーゼ7.0mL アスベリン9.0mL 分3毎食後 3日分 100mgセフゾン 1.9g 分3 毎食後	アスベリンsy 9mL レフトーゼsy 7mL アスベリンsy 9mL 3× ↓ アスベリンsy 9mL レフトーゼsy 7mL ペリアクチンsy 9mL 3×	重複変更

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ベイスン錠0.3 2錠 朝夕食直前 30日分 メパロチン錠5 2錠 分1 夕食後服用 30日分 タナトリル錠5 2錠 分2 朝、夕食後服用 30日分 アダラートCR錠20mg(2-0-1) 3錠 分2 朝、夕食後服用 30日分 ノボリンN注フレックスペン300単位 2キット 1日2回(朝10時0分夕5時就寝前0)	ノボリンN注フレックスペン300 (朝10時5分)→(朝9時単位夕5時単位)変更	Drに単位の確認のため問い合わせをした
アダラートCR錠20mg(2-0-1) 3錠 分2 朝、夕食後服用 28日分 キネダック錠50mg 3錠 分3 毎食前服用 28日分 ミカルデイス錠40mg 1錠 分1 朝食後服用 28日分 ドグマチール錠100mg 3錠 分3 毎食後服用 28日分 ノボラピッド30ミック注フレックス 3キット 1日2回(朝14時0分夕9時就寝前0)	ドグマチール錠100mg 3T→ドグマチール錠50mg3Tに変更	ドグマチール錠100mg 3T投与量について問い合わせ、患者情報により問い合わせ
ダーゼン10mg錠 3錠 カロナール錠200 3錠 フロモックス錠100mg 3錠 分3 毎食後服用 5日分 ツムラ葛根湯エキス顆粒(医療用) 7.5g 分3 毎食前服用 3日分 シナール 分2 朝、夕食後服用 30日分	フロモックス(100)3T 分3(N)→クラビット(100)3T分3(N)に変更	フロモックスで副作用あり
ノルバスク錠5mg 1錠 デイオバン錠80mg 1錠 1日1回 朝食後 28日分 クラビット錠100mg 3錠 PL顆粒 3g ノイチーム錠90mg 3錠 1日3回 毎食後 5日分 クラリチン錠10mg 1錠 1日1回 夕食後 14日分	ニトロールR 2Cap/2× 朝夕食后 追加	薬剤記載漏れ
トレドミン錠25 6錠 アモキシサンカプセル25mg 3C レキソタン錠1 3錠 トリプタノーム錠25 3錠 分3 毎食後服用 14日分 サアミオン錠5mg 3錠 分3 毎食後服用 14日分 ロヒプノール錠1 1錠 ユーロジン2mg錠 2錠 分1 就寝前 14日分 マイスリー錠10mg 2錠 分1 就寝前 14日分	ユーロジン(2) 2→1T マイスリー(10) 2→1T へ変更	マイスリー(10)は用量過大のため
フロモックス錠 100mg 3錠 ムコダイン錠 250mg 3錠 PL顆粒 3g 1日3回毎食後 4日分 ホクナリンテープ 2mg 7枚 1日1回貼付 1調剤 クラリチンレディタブ 1錠 1日1回 夕食後 4日分	クラリチンレディタブ 削除	他院でクラリチン服用しているため
イソジンガーゲル7% 30ml 1日数回含嗽 1調剤 クラビット錠 100mg 3錠 PL顆粒 3g ムコダイン錠250mg 3錠 1日3回毎食後 4日分 屯服 ロキソニン錠 60mg 1錠 発熱時 3回分	クラビット削除	他院より処方のクラビット服用中のため
フロモックス錠 100mg 3錠 PL顆粒 3g ムコダイン錠 250mg 3錠 1日3回 毎食後 4日分 イソジンガーゲル 7% 30ml 1日数回含嗽 1調剤	ムコダイン(250) 削除	同一医療機関で既に処方され服用中だったため

元の処方	疑義照会后	変更理由等
キプレスチュアブル錠 5mg 1錠 分1 就寝前服用 14日分 テオドール錠 50mg 6錠 分2 朝・夕食後服用 ブリカニール錠 2錠 分2 朝・夕食後服用 14日分 ムコソルバン錠 15mg 3錠 分3 朝・昼・夕食後服用 14日分	ムコソルバン錠 3錠 分3毎食後→2錠分2 朝夕食後服用に変更	体重27kgムコソルバン錠3錠用量過大のため
アルダクトンA錠 25mg 1錠 ラシックス20mg錠 0.5錠 朝食後 28日分	アルダクトン25mg 削除	他院よりアルダクトンA錠25mg 処方されているため
ボララミンシロップ 0.04% 4.5ml 分3 朝・昼・夕食後服用 1日分 ザジテンシロップ 0.02% 4.5ml 分3 朝・昼・夕食後服用 1日分 メプチンシロップ 6ml 分2 朝・夕食後服用 1日分 ムコダインシロップ 5% 6ml 分3 朝・昼・夕食後服用 1日分 ワイドシリン細粒200 4g 分3 朝・昼・夕食後服用 1日分 メイアクトMS小児用細粒 1.5g 分3 朝・昼・夕食後服用 3日分 ラックビーR 1g 乳酸カルシウム 1g 分3 朝・昼・夕食後服用 3日分	ワイドシリン細粒 削除	抗生物質2種(ワイドシリン細粒、メイアクトMS小児用細粒)重複のため
ボララミンシロップ 0.04% 4.5ml 分3 朝・昼・夕食後服用 7日分 メプチンシロップ 6ml 分3 朝・昼・夕食後服用 7日分 ムコダインシロップ 5% 6ml 分3 朝・昼・夕食後服用 7日分 ホクナリンテープ0.5mg 7枚 1日1回 入浴後または夜	ホクナリンテープ0.5mg 7枚 削除	ホクナリンテープの使用部位の痒みのため
ノイトロピン錠 4単位 42錠 (分2、朝・夕食後服用) 日分 7	ノイトロピン錠 42錠 分2 7日分 → 4錠 分2 7日分に変更	明らかかな量が過大なため
ケフラル細粒小児用100mg 6g 1日3回毎食後 5日分 クラリスドライシロップ小児用 100mg 2g 1日2回朝夕食後 5日分 ムコダイン細粒 50% 1.2g 小児用ムコソルバンDS1.5% 1.3g ペリアクチン散1% 0.5g 1日3回毎食後 5日分 ピオフェルミンR 1.2g 1日3回毎食後 5日分	クラリスドライシロップ小児用 削除	ケフラルとクラリスが同時処方になっていたため
モーラステープL 42枚 1日1回 痛い所に1枚	モーラステープL 42枚→ミルタックス36枚 1日2回に変更	モーラステープLでかぶれたため
ダイドロネル錠200 1錠 分1 就寝前服用 14日分 エバステル錠10mg 1錠 分1 朝食後服用 14日分 ユベラニコチネート 100mg 2C シナール 2g 分2 朝・夕食後服用 14日分 モーラステープ 7Cm×10Cm 21枚 1日1回 痛い所に1枚	ダイドロネル削除	ダイドロネル2wEEK 服用3ヶ月休みをくり返して服用するものが前回は処方だったため
ケフラル細粒小児用100mg 4.5g 1日3回毎食後 5日分 ムコダイン細粒 50% 0.9g 小児用ムコソルバンDS 1.5% 1g ペリアクチン散1% 0.4g 1日3回毎食後 5日分	ケフラル細粒小児用 4.5g→3.0g ムコダイン細粒 0.9g→0.5g 小児用ムコソルバンDS 1g→0.7g ペリアクチン散1% 0.4g→0.3g	患者さんに体重を確認したところ10kgとのことだったので、少し多めと思い問い合わせたところ変更になった。
バイナス 75mg 2T タベジール 1mg 2T 1×vDs 7TD	ムコソルバンDS1.5% 40mg→ムコソルバンDS1.5% 30mg	6才児 ムコソルバンでの適量2倍以上になるため
ヤクバン20 7Cm×10Cm 両膝 1日1回貼り変え 14枚	インドメシンコーワハップ 10Cm×14Cm 25枚 左に同	ヤクバン20によるカブレ

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ツムラ小紫胡湯加桔梗石膏 7.5 34× vDs 5T フロモックス錠100mg 3T ロキソニン錠60mg 3T ニコラーゼ(10) 3T 3×vDs 5T イソジンガーグル 1本	フロモックス、ロキソニン削除	患者インタビューにより他病院よりフロモックス、ロキソニン処方あり→削除
テオドール錠200mg 2錠 クラリス錠200mg 2錠 分2 朝・夕食後 5日分 カフコデN錠 6錠 分3 毎食後 5日分 サルタノールインヘラー13.5mL 2瓶 カロナール錠200 2錠 4回分	カフコデN 6錠 分3毎食後 5日分をフスタゾール糖衣錠 6錠 分3毎食後 5日分に変更	カフコデN錠:気管支喘息発作中の患者禁忌 喘息の発作が出始めているため
MuCosolvAn 3T AsvErin (20) 3T MuCoDinE (0.05) 3T MEptin (0.05) 3T	メプチン錠3錠 4日分削除	前回(10/24)メプチンで手の震え
レスキュラ点眼液5mL 1日10回 両眼 カリユニ点眼液15mL 1日5回 両眼	レスキュラ10回 → 2回	点眼回数の誤り
アダラートL錠20mg 2錠 分2 朝・夕食後服用 28日分 バイアスピリン錠100mg 1錠 分1 朝食後服用 28日分	デパケン錠200 3T 分3 nDE 28日分追加	処方もれ 追加



別表2 臨床的意義が高い(治療効果を向上させたと思われる)と評価された処方変更例

元の処方	疑義照会后	変更理由等
オパルモン錠5 $\mu$ g 3錠 1日3回 毎食後 28日分 フルルバン 10Cm $\times$ 14Cm(温感 $\cdot$ 6枚) 10包 1日1 $\sim$ 2回1枚患部に貼付 腰に貼付	ロキソニン錠60mg 3TAB セルベックスカプセル 3CAp 3 $\times$ N.DE 28 TD	入力もれと判明 追加される
ハルシオン0.125mg錠 1錠 1日1回 就寝前 14日分	アダラートCR錠20mg 1錠 1日1回朝食後84日分 が追加となった。	アダラートCRが処方されるはずだったが、と申し出を受けて照会。
ディオバン錠80mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 16日分 ブスコピン錠10mg 3錠 ペリアクチン錠4mg 3錠 フオイパン錠100mg 6錠 ガスモチン錠5mg 3錠 分3 毎食後服用 $\times$ 21日分 グッドミン錠0.25mg 1錠 分1 就寝前服用 $\times$ 14日分 ザイロリック錠100mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 21日分 コニール錠4mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 21日分 オパルモン錠5 $\mu$ g 2錠 ロキソニン錠60mg 2錠 ソロン錠50mg 2錠 分2 朝 $\cdot$ 夕食後服用 $\times$ 14日分	ディオバン80 16日分 $\rightarrow$ 21日分 21日分すべて一包化	ディオバン80は毎日継続服用する必要がある。
ベネット錠2.5mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 30日分 フルタイド50ディスカス 1個 1日2回 各1ブリスター吸入 $\times$ 1調剤 ホクナリンテープ2mg 14枚 1日1回 1枚 夜就寝前貼付 $\times$ 1調剤	ベネット錠2.5mg 1錠 用法 朝食後 $\rightarrow$ 起床時	食事摂取により吸収量低下。
ミンザイン錠0.25mg 1錠 分1 就寝前服用 $\times$ 14日分 スチックゼノールA 40g 1日3回 患部に塗布 $\times$ 1調剤	ボナフェック坐剤25 疼痛時 1回1個 1日1 $\sim$ 2回 肛門挿入 追加	塗布剤のみで痛みのコントロールが難しいため。
ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒(医療用)2.5g 分1 夕食前服用 $\times$ 21日分 パナルジン錠100mg 2錠 ガスター錠20mg 2錠 ガストローム顆粒66.7% 3g 分2 朝 $\cdot$ 夕食後服用 $\times$ 21日分 エクセグラン錠100mg 3錠 分3 毎食後服用 $\times$ 21日分	一包化指示	69歳 認知力低下のため、一包化の必要あり。 脳梗塞。
ニューロタン錠25mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 30日分 メニエース6mg 2錠 分2 朝 $\cdot$ 夕食後服用 $\times$ 30日分 フルイトラン錠2mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 30日分 マグラックス錠250mg 3錠 分3 毎食後服用 $\times$ 30日分 AZ点眼液0.02%5ml 1瓶 1日3回 点眼 $\cdot$ 両眼 $\times$ 1調剤	一包化指示	年齢92歳 一包化必要あり。
アマリール錠1mg 1錠 分1 朝食前服用 $\times$ 28日分 メチクール500 0.5mg 2錠 分2 朝 $\cdot$ 夕食後服用 $\times$ 28日分 パファリン81mg錠 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 28日分 トーフラートL錠20mg 1錠 分1 朝食後服用 $\times$ 28日分 ツムラ釣藤散エキス顆粒(医療用) 7.5g 分3 毎食前服用 $\times$ 14日分 ノボラピッド注300フレックスペン 2キット 1日3回 $\times$ 1調剤	ノボラピッド注300フレックスペン 用法漏れ $\rightarrow$ 朝、昼、夕 各6単位	
オイグルコン錠1.25mg 2錠 ベイスン錠0.2 2錠 トーフラートL錠10mg 2錠 分2 朝夕食前服用 $\times$ 30日分 レニベージ錠5 1錠 分1 朝食前服用 $\times$ 30日分 パファリン81mg錠 1錠 分1 朝食前服用 $\times$ 30日分	一包化指示。	患者82歳 一包化しないと服用を間違える。

元の処方	疑義照会後	変更理由等
ロルカム(4) 3T テネリン(1) 3T ムコスタ(100) 3T 3×N 14TD	ロキソニン(60) 3T テネリン(1) 3T ムコスタ(100) 3T 3×N 14TD	患者さんの希望 前回はロルカム(4)が処方されたが効果が なかったため、前々回の処方のロキソニ
ノボルリン 30R(100cc) 10ml 1本	ノボルリン 30R(100cc) 10ml 1本 1日2回 朝6単位 夕4単位 朝夕食前	注射剤 用法、用量記載もれ
エイゾプト1%点眼液 10mL両眼 1日2回点 眼キサラン点眼液 2.5mL両眼 1日1回点 眼	ロメフロン点眼液 5mL1日3回両眼 点 眼 追加	目が埃っぽいので前にも処方されたこと があるロメフロン点眼液が追加になる
アポプリール錠12.5 2錠ガスコン錠40mg 2 錠カマ 0.5gフルイトラン錠2mg (0.5錠ずつ) 1錠1日2回 朝夕食後30分服用 14日分ラ クティオンパップ 10Cm×14Cm 30枚1日1 回 患部に貼付のこと	フルイトラン錠2mg 割線にて半錠にする ザイロリック分1 朝食後 14日分 追加ラ クティオンパップは1回に1から2枚	
アダラート5mg 2CAp カルビスケン5mg 2T リスモダン100mg 2CAp 分2:朝・夕食後 14日分 デパス0.5mg 2T 分2:朝・夕食後 14日分 ジゴシン 1T 分1:朝食後 14日分 フルベアンコーワテープ(5Cm×10Cm) 1枚	アダラート、カルビスケンが ニバジール2mg 2T カリクロモンSカプセル 25単位2CAp 分2:朝・夕食後 へ変更	以前よりずっとニバジール、 カリクロモンSを服用され、 症状も安定されているので お薬を変更する必要が無いため
クラビット点眼液 5mL フルメロン0.02% 5mL 右眼1日4回	クラビット点眼液 5mL フルメロン0.02% 5mL 左眼1日4回	以前より左眼に両点眼等を使用して おり、患者さんも右眼は症状がないと おっしゃられていたため。
オゼックス(150) 3T ムコソルバン 3T リン酸コデイン散1% 3.0g メジコン散 1.0g メチエフ散10% 0.8g クレマニドドライシロップ 0.8g 分3:毎食後 3日分 インジンガーグル 30mL 1日3回含嗽	コロナール(200) 2T 頓服5回分 有熱時	患者さんは風邪で受診され、発熱も あるとのことで、元の処方には 解熱作用のお薬がないので 追加していただきたいとの 要望があったため。
クラリスDS 0.4g テルギンG DS 0.4g 2×M. An 14日分 ホクナリンテープ(1) 14枚 1日1回胸部などに貼付。1回1枚	クラリスDS 0.4g → 1.3gに変更	体重に対して(0.1~0.15g/kg)クラリスの 量が少なすぎるため、処方変更 (3歳と3ヶ月)
バイアスピリン錠100mg 1錠 ディオバン錠80 1錠 1日1回 朝食後 35日分 シグマート錠5mg 2錠 1日2回 朝・夕食後 35日分 アモバン錠7.5 1錠 1日1回 就寝前 35日分 アイトロール錠20mg 2錠 1日2回 朝・夕食後 35日分	調剤方法(ヒート→一包化)	高齢のため、薬剤識別困難。本人の希 望もあり医師照会。のみ忘れ、のみ間違 い防止のため一包化へ変更。
ガスター錠20mg 2錠 1日2回 朝・夕食後 56日分 メリスロン錠6mg 3錠 セロクラーレ錠20mg 3錠 1日3回 毎食後 56日分 バイアスピリン錠100mg 1錠 1日1回 朝食後 56日分 ミオナール錠50mg 3錠 デパス錠0.5mg 3錠 1日3回 毎食後 56日分 ニューロタン錠50 1錠 1日1回 朝食後 56日分	調剤方法(ヒート→一包化)	薬剤数が多く、用法も様々なため、本人 の希望により医師照会。のみ忘れ、のみ 間違い防止のため一包化へ変更。
グリミクロン錠40mg 0.5錠 1日1回 朝食後 28日分 アスパラーCA錠200 3錠 グリマック顆粒 2g アランターSP 20% 1g 1日3回 毎食後 28日分 ガスター錠10mg 2錠 1日2回 朝・夕食後 28日分 ディオバン錠80 1錠 1日1回 朝食後 28日分 セルタッチ10Cm×14Cm(6枚) 5包 1日1回1枚患部に貼付 ナパゲルローション(50ml) 50ml 1日1~2回患部に塗布 モーラステープ 7Cm×10Cm(7枚) 5包 1日1回1枚患部に貼付	・湿布の貼付部位 セルタッチ…腰 モーラステープ…手首 ・調剤方法(ヒート→一包化)	・湿布…2種類の使い分けを患者が理解 していなかったため、照会し確認。 ・一包化…薬剤数多く、粒・粉が混在す るため、本人の希望により医師照会。の み忘れ、のみ間違い防止のため一包化 へ変更。

元の処方	疑義照会后	変更理由等
モーラステープ 7Cm×10Cm(7枚) 4包 1日1回1枚腰に貼付 ソレト 錠80 3錠 1日3回 毎食後 28日分 セラスター 10Cm×14Cm(10枚) 3包 1日1~2回腰・膝に1枚貼付 ツムラ芍薬甘草湯エキス顆粒(2.5g)医療用 5g 1日2回 朝・夕食直前 28日分	セラスター 1日1~2回2枚貼付へ変更 ー追加ー ダイドロネル 1錠 1日1回ねる前服用 14日分	・セラスターの貼付部位が2ヶ所のため、変更。 ・前回ダイドロネルの処方から丁度3ヶ月目なので照会の上追加。
デイオパン錠80mg 1錠 1日1回 朝食後 28日分 ノルバスク錠2.5mg 1錠 フェロ・グラデュメット 1錠 1日1回 朝食後 28日分 アルマール錠5 2錠 1日2回 朝・夕食後 28日分 アレロック錠5 2錠 1日2回 朝・夕食後 28日分 バイミカード錠5mg 1錠 1日1回 就寝前 28日分	・用法・部位落ち ・調剤方法(ヒート→一包化)	・用法・部位が落ちており、患者も正しく教えてもらってなかったため、照会確認。 ・高齢のため、薬剤識別困難。本人の希望もあり医師照会。のみ忘れ、のみ間違いの防止のため一包化へ変更。
エトドラク錠200mg 2錠 1日2回 朝・夕食後 14日分 ノイトロピン錠 3錠 1日3回 毎食後 14日分 デパス錠0.5mg 3錠 1日3回 毎食後 14日分 メチコパール錠500μg 0.5mg 3錠 1日3回 毎食後 14日分 エビスタ錠60mg 1錠 1日1回 医師の指示通り 7日分 MS温シップ(100g) 600g 1日1~2回1枚両膝に貼付 トフランール錠10mg 2錠 1日2回 朝・夕食後 14日分	・エビスタ用法 医師の指示通り→朝食後服用 ・MS温シップ 1日1~2回1枚貼付 ↓ 2枚貼付 ー追加ー ソロン細粒20% 1.5g アルサルミン細粒 3g ミヤBM細粒 2g 1日3回毎食後服用14日分	・エビスタ…「医師の指示」が患者に伝わっていなかったため照会、朝食後服用と確認。 ・MS温シップ…部位が2ヶ所あり、1枚ずつ貼るから。 ・追加…受診時希望した薬が落ちていたため。
セルシン錠[2mg] 1錠 発作時 10回分 インデラル錠10mg 1錠 デパス錠0.5mg 1錠 発作時 10回分	セルシン錠(2)の用法 発作時→動悸時へ変更 インデラル(10)・デパス(0.5)の用法 発作時→胸部不快時 (セルシンで改善されない時)	同じ用法ではどうのみ分けてよいかわからないため。
ワンアルファ錠1.0 1錠 1日1回 朝食後 90日分 ボナロン錠5mg 1錠 1日1回朝起床時(食事の30分以上前) 90日分 オパルモン錠5μg 3錠 1日3回 毎食後 90日分	ー追加ー ロキソニン錠 3T セルベックスCAp 3C 1日3回毎食後服用28日分	受診時に希望したはずのお薬がおちていたため。
プロプレス錠4 1TアダラートL錠20g 朝食後 28日分	プロプレス錠4 1TアダラートCR錠10g 朝食後 28日分 コイド軟膏 5g 1日1回 患部に塗布	軟膏は記載もれ内服は前回と異なるため
小児用フルナーゼ点鼻液 2本1日2回鼻内噴霧	フルナーゼ点鼻液 2本1日2回鼻内噴霧	
ミカルディスカプセル40mg 1C リパンチルカプセル150 1C アムロジン錠5 1錠 分1 朝食後服用 30日分 ゴビラックス錠400 10錠 5日分 アラセーナA軟膏3% 10g 1日1回~2回 患部に塗布	ミカルディスカプセル ↓ ミカルディス錠 ゴビラックス400 10T 分5 毎食後・午後3時・寝る前	ミカルディスカプセルの販売中止により、ミカルディス錠に変更 ゴビラックスの服用時間の記載もれ
ベミラストンドライシロップ0.5% 0.2g ムコサールドライシロップ1.5% 0.4g フロジン液5% 0.6mL 分2 朝・夕食後服用 4日分 ホクナリンテープ0.5mg 5枚 1回使用量 1/2枚就寝前胸部貼付 アンヒバ50 3個 38.5度以上発熱時 1日2回まで	疑義照会(16時41分) フロジン液0.6mL→フロモックス細粒10% 0.6g	フロジン液とフロモックスの記入ミス
ジョサマイsy 18ml 分2 朝夕N 2日分	ジョサマイsy 18ml 分2 朝夕N 2日分 ポンタールsy 5ml 有熱時頓服(38.5℃以上、5~6時間あけて)5日分	患者インタビューにより、高熱(40℃近い)であり、解熱剤は持っていないとのこと。Drからの指示不明(外人のため、言葉があまり通じない)のため、疑義照会。ポンタールsy追加となった(記載漏れか)

元の処方	疑義照会后	変更理由等
ディオバン錠80mg 1T 1日1回(食後)朝 ノルバスク錠2.5mg 2T 1日2回(食後)朝・夕 14日分 トフラニール錠10mg 2T 1日2回(食後)朝・夕 14日分 タケプロンカプセル15 1C 1日1回(寝前) 14日分 セレスタミン錠 1T 14回分	エンシュアリキッド 250ml 1日1回朝食時 14日分 追加処方 セレスタミン錠 じんましの症状がひどいとき ノルバスク錠(0.5)の用法照会済み	
ジスロマック細粒小児用 1.5g 1日1回 朝食後 3日分 メジコンシロップ 6ml ムコダインシロップ 1.2ml 1日3回 毎食後 3日分 ホクナリンテープ1mg 3枚 1日1回 胸部に貼付	ムコダインシロップ1.2ml →ムコダインDS1.2g	ムコダインシロップ1.2mlでは1日量として60mgにしかならず、4歳の子供には量が少ないため疑義照会。
ワソラン錠 2T 1日2回 起床時、夕食直後 35日分 テルネリン 1T 1日1回 夕食直後 35日分 ニトロールRカプセル20mg 1CAp 1日1回 就寝前 35日分 バファリン錠81mg 1T オメプラノン錠20mg 1T 1日1回 朝食直後 35日分 オパルモン錠5mg 3T メチコバール錠500μg 3T 1日3回 毎食直後 35日分 フランドルテープS40mg 35枚 1日1回1枚胸部に貼付(就寝前)	オメプラノン錠20mg →オメプラノン10mg	患者さんが医師に調子がよくなったので減量すると言われていたが、減量されていなかったため医師に確認。
1 テオロンG(100) 2T ムコソルバン(15) 2T 2×朝食後 2 シングレアチュアブル(5) 1T 1×夕食後 3 フルナーゼ点鼻液 1本 1日2回 朝夕噴霧 1,2 28日	シングレアチュアブル(5) 1T 1×就寝前へ変更	患者さん「朝方にかけて喘息症状が出る」とのこと。またシングレアチュアブル(5)は「Drよりも寝る前に服用の指示受けた」とのこと。
1%リタリン散 1.8g 1日2回 朝夕食後 30日分	1%リタリン散 1.8g 1日2回 朝昼食後 30日分	
サワシリン細粒 1g	サワシリン細粒 10g	施設入所の76歳女性
アダラートCR錠40mg 1錠 1日1回 朝食後 30日分 ナウゼリン錠10 10mg 3錠 PL顆粒 3.0g 1日3回 毎食後 5日分	処方追加 シプロキサ100mg 3T分3毎食後5日分	患者インタビューよりかぜの症状及び診察時にDrよりシプロキサンの処方があることを聞いていたが処方されておらず照会した。
ムコスタ(100) 3T ワソラン(40) 3T ノイキノン(10) 3T 1日3回 毎食後 28日分 ニューロタン(25) 1T 1日1回 朝食後 28日分 セルシン(2) 1T 1日1回 就寝前 28日分 ガスター2%散 1.0g ソロン20%細粒 0.6g エクセラーゼ 3T 1日3回 毎食後 28日分 ラキソベロン液 1本 1日1回 就寝前	ラキソベロンの用量確認 1回15滴	
(1) シングレアチュアブル錠5 1錠 就寝前 5日分 (2) ミオカマイシンドライシロップ200 3.5g レスブレン細粒 10% 0.5g テオドールドライシロップ20% 0.8g ムコサールドライシロップ 1g ゼスラン小児用細粒0.6% 0.7g エンテロノールR 1g 分3 毎食後30分以内 5日分 (3) アズノールうがい液4% 5ml (1日数回 うがい) (4) ホクナリンテープ1mg 5枚 1日1回24h毎1枚使用	ミオカマイシンドライシロップ200の3.5g→3.0gに変更(1日量)	7才、体重25Kgの小児。 ミオカマイシンは通常大人体重でも600mg/DAYで今回700mg/DAYを超えてしまうため。